

令和4年度 美術科 シラバス🐓

評価の観点

評価について📌

□知識・技能

- * **造形的な視点**※について理解している。
※教科書の中に造形的な視点のヒントが載っています。
- * 自分の考えたアイデアを表現できるように、材料や表現を工夫している。
- * 技法を効果的に表現し、素材を上手に扱い、制作している。

評価ポイント📌

- ・ アイディアスケッチや鑑賞プリントワークシート
- ・ テーマに対しての下書き
- ・ 基本的な表現技法
(描く・作るなどの用具の扱い)
- ・ 総合的な作品の表現
(創造・技能・計画) など

□思考・判断・表現

- * 「知識・技能」を踏まえ、主題(自分のテーマ)を設定する。
- * 心豊かに発想、構想を練る。
- * 見方や感じ方を広げている。

評価ポイント📌

- ・ アイディアスケッチ
- ・ テーマに対しての下書き
- ・ 振り返りシート **NEW**
- ・ 総合的な作品の表現
(発想・構想・表現方法) など

□主体的に学習に取り組む態度

- * 「知識・技能」、「思考・判断・表現」を踏まえ、学習に意欲的に取り組んでいる。
- * 自ら楽しく美術の活動に取り組んでいる。

評価ポイント📌

- ・ 授業中の態度
- ・ 制作への取り組みの様子
- ・ 振り返りシート **NEW**
- ・ 作品提出日 など

授業への取り組み方

- ・ 時間を守る。
- ・ 忘れ物をしない。
- ・ 計画的に進める。
- ・ 本気で取り組む。
- ・ 提出日を守る。
- ・ 作品を大切に作る。

学習の目標

- ・ 造形的な視点を理解し、表現方法を創意工夫し、創造的に表現できるようにしよう。
- ・ 美しいと感じる心や創造する力を高め、様々な見方や働きなどについて考えよう。
- ・ 主題(自らのテーマ)を生み出し、発想・構想を練り、造形的な美しさを追求しよう。
- ・ 美術作品や文化遺産などについて理解を深め、よさを感じ取りながら鑑賞をしよう。

学習の特色

- ・ 1年生の美術では、美術の基礎基本を大切に、知る・見る・描く・作る活動を行う。
- ・ 2年生の美術では、自己表現を伸ばす制作活動を行う。
- ・ 3年生の美術では、理解や見方を深め、さらに表現力を高める制作活動を行う。

学習の仕方

- ・ 美しいものを見て、美しいと感じる心を持ち、美しく表現しましょう。
- ・ 自己の感性を磨くことが大切です。
- ・ 技術だけではなく、目・耳・鼻・味・触の五感で感じる表現をしましょう。
- ・ あらゆる機会に美しいものと会いましょう。
(美術館・博物館など)

美術科年間計画

	1年生	2年生	3年生
4	「色の世界」 三原色について 色相環、補色	「Wizard lantern」 プッシュステンドランタン	「私の印章」 ・印鑑の印面仕上げ ・持ち手
5	「私のマーク」 ・美術バッグデザイン ・キーホルダーづくり		
6			
7			
8	「美術館へ行こう」 美術館レポート課題	「私のお気に入り」 レポート課題	
9	「ゲルニカ」「ピカソ」 鑑賞	「ジャポニスム」 鑑賞	「京都・奈良」 鑑賞
10	「一つの形から広がる世界」 幾何学模様パターン	「視点の冒険」 自分を表す	「美しい日本の風景」 ちぎり絵、切り絵
11			
12			
1	「部屋に住み着く不思議な生物」 ウッディ粘土	「私の印章」 印鑑の印面	「ルネサンス」 「世界の日本文化遺産」 「伝統と文化」鑑賞
2			
3			